

自助・共助による 防災・減災

銚子市 総務課 危機管理室

防災を考えるうえで一番大切なことは？

**自分の命
家族の命を守る！**

そのために何をすべきか？

近年、頻発する未曾有の大災害

- 平成26年9月 御嶽山噴火 死者63人
- 平成27年9月 関東・東北豪雨 鬼怒川が決壊 死者14人
- 平成28年4月 熊本地震 死者273人
- 平成29年7月 九州北部豪雨 大規模な土砂崩れと河川の氾濫
死者・行方不明者41人
- 平成30年7月 西日本豪雨 西日本を中心に広範囲で洪水・土砂崩れ
死者・行方不明者245人
- 平成30年9月 北海道胆振東部地震 死者42人
- 令和元年 9月 台風15号 暴風による長期停電・断水 死者1人
- 令和元年10月 台風19号 死者・行方不明者101人
- 令和元年10月 10月25日集中豪雨 死者13人

令和元年台風15号被害概要(鉾子市)

- ① 人的被害（復旧作業中によるけが） 重傷2名、軽傷1名
- ② 住家被害 365件 うち半壊4件（令和2年1月末日現在）
- ③ 農業被害 約3億2,000万円
- ④ 水産業施設被害 約4,000万円（28事業所）
- ⑤ 公共施設等被害 下水道芦崎終末処理場など多数
- ⑥ 停電 最大約9,000軒 9月13日（金）面的な復旧完了
9月21日（土）まで個別要因による停電箇所複数あり
- ⑦ 断水 市内2,171世帯 5,310人
9月10日（火）19：00断水解消

令和元年台風15号被害概要(銚子市)

⑧ 避難所開設状況

(1)台風接近時 9月8日(日)16:00~9日(月)10:30

避難所名	第二中学校	市体育館	第五中学校	船木小学校	豊里小学校	地域交流センター	合計
避難者数(最大)	0人	13人	5人	0人	1人	0人	19人

(2)停電継続時 9月10日(火)10:00~17:15

避難所名	保健福祉センター	地域交流センター	勤労コミセン	海上地区コミセン	合計
避難者数(最大)	4人	0人	6人	8人	18人

(3)停電世帯入浴支援 9月14日(土)、15日(日)9:00~16:00

芦崎高齢者いきいセンター 利用者 14日-7人、15日-2人

(4)低気圧接近時 9月15日(日)17:00~16日(月)9:00

※勤労コミセンは、9月16日(月)17:00まで開設

避難所名	市体育館	地域交流センター	勤労コミセン	海上地区コミセン	合計
避難者数(最大)	2人	0人	0人	0人	2人

(5)避難所運営従事者数 延べ48人

令和元年台風15号被害概要(鉾子市)

⑨ その他市対応業務

項目	対応内容
災害対策本部	9月13日(金)9:00~9月24日(火)17:00
市対応業務	①倒木(撤去、伐採) 29件 ②竹(撤去、伐採) 3件 ③土砂撤去、路面清掃 20件 ④散乱ごみ収集 34件 ⑤公共施設修繕 14件 ⑥土のう配布 3件 ⑦土のう積み 3件 ⑧その他 28件 計 134件 その他、高齢者世帯、障害者世帯への戸別訪問。 老人保健施設などへの飲料水配付
ブルーシート配布	498世帯 1,219枚
ブルーシート掛け援助	40世帯(自衛隊7世帯、消防34世帯)
携帯・スマホの充電場所設置	9月10日(火)~18日(水) 利用者 22人

令和元年台風19号被害概要(鉾子市)

- ① 人的被害 なし
- ② 住家被害 77件 うち半壊8件 (令和2年1月末日現在)
床上浸水25件、床下浸水69件 (市職員現地調査結果)
- ③ 農業被害 約2,000万円
- ④ 公共施設等被害 水路損傷など
- ⑤ 停電 最大約4,700軒
10月12日(土) 21:34~13日(日) 22:40
- ⑥ 断水 なし (ただし、受水槽設置住戸など個別要因あり)
- ⑦ 避難情報
 - (1) 10月12日(土) 9:15 レベル3 避難準備・高齢者等避難開始発令
 - (2) 10月12日(土) 12:00 レベル4 避難勧告発令
 - (3) 10月13日(日) 6:00 避難情報解除
 - (4) 10月13日(日) 20:00 レベル4 避難勧告
 - (5) 10月14日(月) 8:00 レベル4からレベル3へ移行
 - (6) 10月14日(月) 21:00 避難情報解除

令和元年台風19号被害概要(鉾子市)

⑧ 避難所開設状況

(1)台風接近時 10月11日(金)16:00~13日(日)8:00

避難所名	第二中学校	市体育館	第五中学校	船木小学校	豊里小学校	地域交流センター	合計(※)
避難者数(最大)	41人	309人	170人	32人	13人	35人	599人

※合計欄は、6か所最大時の避難者数(10月12日(土)21:00)

(2)利根川洪水時 10月13日(日)14:00~15日(火)8:00

避難所名	勤労コミセン	第五中学校	海上地区コミセン	椎柴小学校	豊里地区コミセン	合計(※)
避難者数(最大)	21人	54人	25人	9人	7人	116人

※合計欄は、5か所最大時の避難者数(10月13日(日)21:00)

(3)避難所運営従事者数 延べ110人

令和元年台風19号被害概要(鉾子市)

⑨ その他市対応業務

項目	対応内容
災害対策本部	10月11日(金)10:00 ~ 10月17日(木)12:00
市対応業務	①土のう袋配布 2,274 枚 ②作成済土のう配布 1,200 袋 ③土のう積みの実施 多数 ④床上浸水家屋への物資(日用品)配布 23 件 ⑤応急住宅(県営・市営住宅)の支援 2 件 その他、高齢者世帯、障害者世帯への戸別訪問 空き家のガラス窓の処置など実施

最も頼りになるのは？

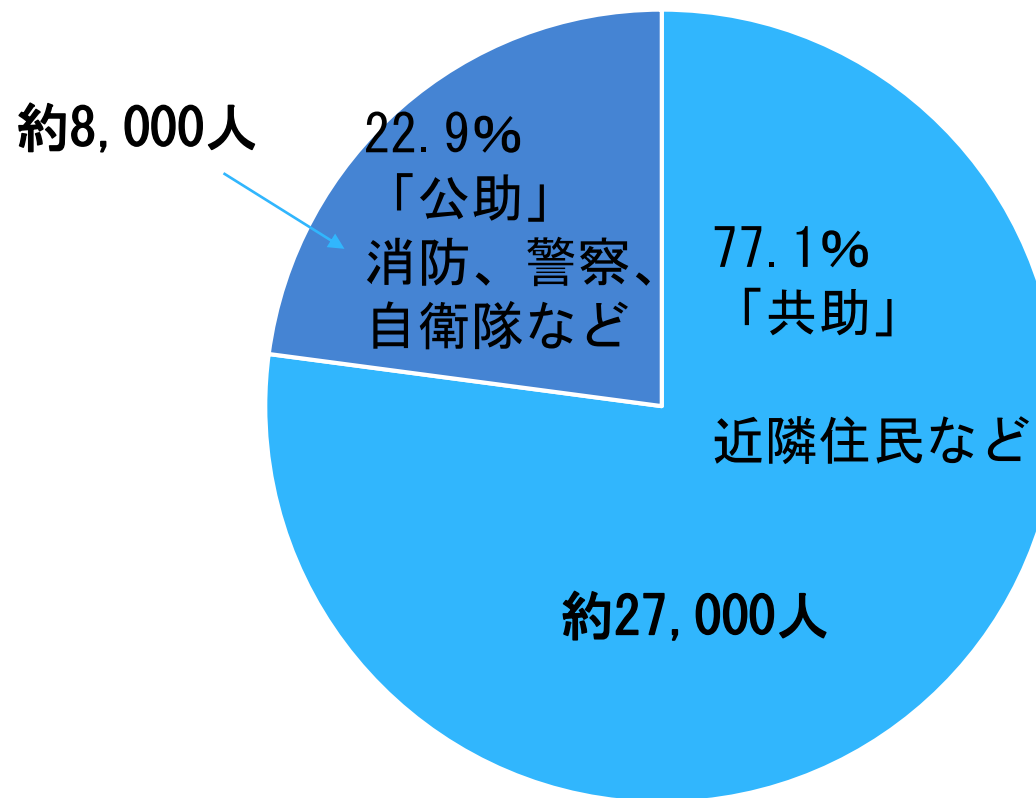
災害発生時には銚子市役所や消防、警察、自衛隊などの「公助」が行われますが、「すぐに」「すべての地域へ」は届かないかもしれません



最も頼りになるのは、平常時からの危機意識「自助」、地域住民による協力体制「共助」です！

事例紹介①

阪神・淡路大震災における 救助の主体と救出者数



■ 共助 ■ 公助



事例紹介②

釜石の奇跡

平成23年3月の東日本大震災では、大津波が甚大な被害を及ぼしましたが、岩手県釜石市の児童・生徒の多くが無事でした（生存率99.8%）。中でも、海から500m足らずの近距離に位置している釜石東中学校と鶴住居（うのすまい）小学校の児童・生徒約570人は、地震発生と同時に全員が迅速に避難し、押し寄せる津波から生き延びることができました。



『津波てんでんこ』を標語に、積み重ねられてきた8年もの防災教育（避難訓練）が実を結び、教師の指示を待たずに中学生は小学生の手を引き、津波から逃げ切ったのです！

※『津波てんでんこ』

津波が来たら、指示を待たずに各自がとにかく早く高台へ逃げろという教訓

家庭の防災対策＝自助

- ① 家具や冷蔵庫の転倒防止対策をしていますか？
- ② 消火器、防火バケツを準備していますか？
- ③ 風呂水の溜め置きしていますか？

銚子市総務課危機管理室

家具転倒防止金具取り付け費助成

○助成対象：市内に住所を有し、以下のいずれかに該当する世帯

- ① 65歳以上の高齢者で構成された市民税非課税世帯
- ② 身体障害者（1，2級）、精神障害者（1級）、知的障害者で構成された市民税非課税世帯
- ③ ①②で構成された世帯（18歳以下の市民税非課税が含まれる場合も対象）

○助成金額：設置に要した費用に相当する額
（上限1万円。1世帯1回限り）

（詳しくは）

高齢者世帯	高齢者福祉課	(24)8754
障害者世帯	障害支援室	(24)8968

家庭の防災対策＝自助

④ 家族との連絡方法を決めていますか？

⑤ 家族で避難する場所を決めていますか？

家庭の防災対策＝自助

- ⑥ 食料や飲料水を備蓄していますか？
(食料と水:ローリングストック法・・・普段の生活中で備蓄)
- ⑦ ラジオ、懐中電灯、医薬品を準備していますか？
- ⑧ 非常用に衣類、毛布を用意していますか？
- ⑨ 貴重品を直ぐに持ち出せますか？

非常時持出品の例

水・食料	飲料水 チョコレート、キャンディなどの携帯食 乾パンなどの火を通さずに 食べられるもの 粉ミルク、哺乳瓶 など
貴重品	現金(硬貨含む) 身分証明書のコピー 通帳、印鑑 など

銚子市総務課危機管理室

非常時持出品の例

生活用品	懐中電灯、 携帯ラジオ(予備電池含む) 携帯電話の充電器 筆記用具、ラップ、ビニール袋、 使い捨てカイロ など
救急用品	救急用品セット、持病薬、 常備薬、お薬手帳 など

銚子市総務課危機管理室

非常時持出品の例

衛生用品	マスク、ウェットティッシュ、 ティッシュペーパー、タオル、 簡易トイレ、生理用品、紙おむつ、 歯磨き用具 など
その他	ホイッスル、ミニライト、 サバイバルブランケット、 予備メガネ、軍手、新聞紙、 家族の写真 など

銚子市総務課危機管理室



乳幼児のいる家庭の
非常持出品の例

銚子市総務課危機管理室

情報入手方法は？

- 防災行政無線
- 防災行政無線自動応答ダイヤル
0479 - 24 - 8206
- 防災ラジオ
- 防災メール
- 市ホームページ
- 市フェイスブック
- NHKデータ放送(dボタン)
- Yahoo!防災アプリ
- 携帯電話エリアメール(避難勧告など緊急情報のみ)
- 広報車による巡回

銚子市総務課危機管理室

10月22日 18時36分更新

銚子市

市区町村選択

避難勧告

【第6中学校区】 1540世帯 5352人

【第7中学校区】 1304世帯 4310人

自治体が発表した情報をそのまま表示しています
末尾に (NHK) とある場合は、NHKの取材情報です

台風21号 静岡県に上陸
各地で土砂災害・氾濫
大塚 中央区
昨夜10時すぎ

3時現在

自	公	共	民	道	都	府	県	別	計	与	野
283	49	29	12	63	9	110	23	6		312	147

- 警戒区域 立ち入り禁止、または制限
- 避難指示 (緊急) 直ちに避難を
- 避難勧告 速やかに避難を
- 避難準備・高齢者等避難開始 避難に時間のかかる人は避難開始

他市区町村の情報をご覧になるには
決定ボタンで地域を選択してください

そうは言っても、
自助 = 個人では限界が・・・

共助 = 自主防災組織

自主防災組織とは

- 災害対策基本法第5条第2項
住民の隣保共同の精神に基づく
自発的な防災組織



- 「自分たちの地域は自分たちで守る」
という自覚、連帯感に基づき自主的に
結成する組織
- 災害を予防し、軽減するための活動を行
う組織

銚子市総務課危機管理室

自主防災組織の特徴

町内会・自治会を活用した組織例			
結成方法	自治会＝自主防災組織	自治会の下部組織	自治会とは別組織
内容	自主防災組織という形式で役員も兼務する。	町内会の一部として自主防災活動部門を設置する。	別個に全く独立した自主防災組織を作る。
特徴	組織作りが容易で、継続しやすい。		組織としての下地が無い ため組織づくりが難しい。
	住民にとって組織の仕組みがわかりやすい。	経験が蓄積され専門性が高まる。 活動の独自性を発揮しやすい。	
	自治会の役員交代によって活動方針や熱意が変わる。		同一地域に二人の長がいて、混乱や対立が 起こりやすい。

自主防災組織設置のヒント

- 1 町内会、自治会に防災部会を設置している場合など、既に自主防災組織に類似している組織がある場合には、その活動内容の充実や強化を図って自主防災体制を強化する
- 2 町内会、自治会で特に防災活動を行っていない場合には、町内会活動の内容の中で、避難や初期消火などの防災（訓練）活動を実施し、地域の人々の防災意識を高めて防災部を設置する
- 3 防災士を中心とした独自の活動が行われている場合は、町内会役員などと連携・協力し、自主防災組織の設置を進めていく

自主防災組織規約(例)

(名称)

第1条 この会は、〇〇町自主防災委員会（以下「委員会」という。）と称する。

(活動の拠点)

第2条 委員会の活動拠点は、次のとおりとする。

- (1) 平常時は〇〇青年館とする。
- (2) 災害時は〇〇小学校とする。

(目的)

第3条 委員会は、住民の隣保協同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、地震その他の災害（以下「地震等」という。）による被害の防止及び軽減を図ることを目的とする。

(事業)

第4条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 防災に関する知識の普及・啓発に関すること。
- (2) 地震等に対する災害予防に資するための地域の災害危険の把握に関すること。
- (3) 防災訓練の実施に関すること。
- (4) 地震等の発生時における情報の収集、安否確認、応急対応に関すること。
- (5) その他委員会の目的を達成するために必要な事項

自主防災組織規約(例)

(会員)

第5条 委員会は、〇〇町内にある世帯をもって構成する。

(役員)

第6条 委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 若干名
- (3) 防災委員 若干名

2 役員は、会員の互選による。

3 役員の任期は、防災委員は5年、その他の者は1年とする。ただし、再任することができる。

(会合)

第7条 委員会は役員会や必要な会合を開く。

(会計)

第8条 委員会の経費は町内会本部会計より支出する。

(その他)

第9条 この規約にない事項は、町内会役員と委員会役員で協議する。

付則

この規約は、〇年〇月〇日から実施する。

栄町防災委員会

- 栄町4町内の連合組織として平成29年5月設立
- 具体的な取り組み
 - ・ 町内独自の防災マップ作成⇒全世帯配布
 - ・ 平常時及び災害時における防災活動をまとめた「栄町地区防災計画」を策定（令和元年9月）
 - ・ 地区防災計画に基づき、平常時・災害時における具体的な活動を実施



愛宕町第四町内会防災委員会

- 平成30年4月設立
- 事業
 - ・防災に関する知識の普及
 - ・災害に関する予防
 - ・災害時の応急対応と安否確認
 - ・その他目的達成のために必要な事業
- 具体的な取り組み
 - ・各世帯の連絡先、家族構成調査
⇒緊急時名簿作成
 - ・防災講座開催、消火器訓練実施

三崎町三丁目町内会

- 毎年、消火器訓練、防災講座を実施
- 自主防災組織設立に向け、現在検討中

名洗町内会

- 毎年、春と秋に津波避難訓練を実施
- 防災講座開催



外川町内会

- 平成30年度から津波避難訓練を実施

春日小学校PTA 高神小学校PTA

- 毎年度、夏休み期間中に6年生児童を対象とした防災体験学習を実施
 - ・ 防災講座
 - ・ 消火器訓練
 - ・ 給水車による給水作業など



とよさとくらし防災クラブ

- 防災士を中心とした任意組織
(平成30年4月設立)
- 具体的な取り組み
 - ・ 豊里台夏祭りにおける防災啓発
 - ・ 防災施設見学会
 - ・ 防災講座開催

※現在は、活動休止中

自助・共助による防災・減災 終

防災ちょうし

防犯・防災メールに登録しましょう！

QRコードまたは下の登録アドレスにアクセスし、
指定のメールアドレスに空メール送信で登録完了

登録 <http://www.city.choshi.chiba.jp/bousai/>

